



サカタニ友の会ニュース

戦争を 忘れない



八月十五日 昭和二十年(昭20) 8月15日正午 玉音放送で、日本が戦争に負けたと知った。そして、その後、連合国軍占領の下で、戦争犯罪人への処罰を始め、軍と財閥解体等の戦後処理が行われ、日本は無力化された。その後、サンフランシスコ講和条約「新憲法制定」で一応敗戦国から独立国になった。が、講和条約セプトで結ばれた「日米安全保障条約」が結ばれ、その結果、現在もまだ、米軍は日本本土と沖縄に居る。なんと70年ものだ。日本が朝鮮を植民地化した35年間の2倍の年月を越して、他国の特別扱いの軍隊が居座り続けている。

進駐当時の事を知る人も少なくなつた。当時国民学校六年生だった私も八一歳。今日は当時の「玉音放送の当時」の事を書こう。朝からジリジリ暑い日だった。夏休みと祖父の病氣(9月1日亡)も有つて疎開地から京都に戻つて来た。朝に、正午から重大放送があること町内から知らされて来た。我が家のラジオは、店の事務所にしかない。祖父は、そこで聞き内容を知らせと言つた。正午放

送が始まったが、雑音と難しい言葉の連続で全く理解できず、近所の人に聞きに行つて、日本の敗戦を知る。一瞬、吹くはずの神風はどうかあつたの?と思つた。病床の祖父に報告すると、私らの国民の力不足で負けた天皇陛下様がお可哀想や」と涙を流した。その夜は、前日まで空襲を恐れ暗闇だった町屋の窓からは、キラキラした光があふれ出ていた。もう空襲は無い、疎開地から京都に戻れると嬉しかった。が、数日後祖父は58才で亡くなつた。



葬儀後、多分(9月5日)夕方、東山方面から軍用ジープに続いて、七条通を大星旗を掲げ、窓にしがみつく程の外国人が乗つた自動車が坂を下つて来た。米軍先兵と新聞記者達員だろう。その2日後深夜、表の七条通が騒がしいのでソート覗き見すると、頑丈そうな大きなトラックが、七条通北側を東山から七条大橋越えて駐車していた。武器は持たずに、米兵が楽しそうに車外で喋つていた。やがて動き出した。後に、岡崎公園

(写真)に集まつたと知る。ついこの間まで敵の鬼畜米軍兵の進駐で市内の商店街は、当初、店を閉め、市民も出歩かなかつた。日本でも、ごく一部しか空襲を受けていない

発行者 株式会社サカタニ
集西楽サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・東山区七条二丁目
TEL・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
毎月発行の
会員新聞です
編集 酒谷義郎
yosirou@sosake

第3日曜日開催日7月21日(定例:朝9時~)
第126回:朝粥食べておしゃべり会
講演・役者 栗塚旭様: 報告者: 高木英智様



朝粥食べておしゃべり会
恒例食前 お話・栗塚旭様
お題・俳優ではなく、役者と呼ばれたい

今日の講師は栗塚旭さん。真つ先に、俳優ではなく、「役者」と呼ばれたいとおっしゃる御年78歳。柔和な笑顔で、またたくまに聴衆を魅了。

栗塚旭といえは土方歳二、土方歳三といえは栗塚旭。語られたのは世の中に「テレビ」という娯楽がどんどん普及する一方で映画が斜陽産業になっていく過程に、役者として映画に舞台に過された貴重な体験、証言の数々でした。

中学を卒業後、故郷の札幌を出て、京都へ。女優の毛利菊枝さんに任せ、カバン持ちをしなから飛躍の時を待ち、昭和40年に当たり役となる「土方歳三」役に巡りあわれたとのこと。岩下志麻、三田佳子、淡島

大都市京都に進駐したのは司令官ウオルター・クルーガー中将が率いる米軍第6軍。市民の外出や店が閉された状態を見て、恐怖心を和らげるために通常占領地で行っている武器(ピストル)携行禁止した為、市民が安心して歩きました。

第一日赤・都ホテル京都ホテルや、東山区北日吉町の丸物社長の中林邸や金鶏正宗の堀野邸は高級将校用住居で接収され、MP(憲兵)が警備し、夜は毎晩、ダンスパーティが開かれていた。敗戦後、戦時の言論統制が解け、当時の政府に、騙されて知ら無かつたことが色々

京都鴨川(東山の入口)
七条大橋欄干磨き
ボランティアお誘い
日時: 八月七日(金)
集合: 七条大橋・東詰の南側
作業: 朝9時~10分程度
準備: 手袋 雑巾・タワシ・ササラ
連絡場所 集西楽サカタニ
参加の方電話 075 561 7974
終了後集西楽サカタニ2Fで1時間程度お茶を飲み懇談しましょう。

判つてきた。戦犯逮捕で近衛氏の自決、東条元総理の自決失敗やミズリーリ号での降伏文章調印等々のニュースがめまぐるしく流れ、食料不足は戦中より酷い状態になった。戦争は絶対忘れない。

千景、草笛光子といった共演女優の名前がボンボンと飛び出し、長谷川一夫の男前ぶりのエピソードも語られ、映画に、舞台にと活動を続けられるうちに役者生活50年を迎えられたそうです。

5月に無謀運転の自転車のあたりを受け、転倒、結果、骨折判明し、文字通り、「骨折り損をした」とおっしゃる栗塚旭さんですが、作品は70年間映画会社のもので、その著作権が切れるまで生きるんだという意気込みで過ごしているから骨折も早治つたと、用意された椅子も無用。よい立ち姿、マイクなしでよく通るお声で、明るくお話しなられ、もともと人前で話をするのが苦手だったと意外な一面も。

錦市場やタカシマヤ、大丸のデパートも大好きと、世界の観光都市ナンバードワンに選ばれる京都の街をこよなく愛される、笑顔が素敵なお紳士でした。

判つてきた。戦犯逮捕で近衛氏の自決、東条元総理の自決失敗やミズリーリ号での降伏文章調印等々のニュースがめまぐるしく流れ、食料不足は戦中より酷い状態になった。戦争は絶対忘れない。

多量な東京池袋で、餓死事件も有つたとニュースで知つた。既に物が満ち溢れた町で。

当時、既にファミマを経営していた私は、わがエリアの中で、この様な事件が起こつたら、どうしようかと思つた。

コンビニでは、まだ充分食べられる食品も、賞味期限前に捨てることになっている。万一の事故に配慮して。

戦時中の幼年時代、米のご飯を捨てるなど事は勿体なく、罪悪だと教え込まれた。農家の苦勞も察せよとも言われた。

今は、人口密集地でこんな事件が起こっている。隣・近所の人とは如何していたのかも思つた。向う二軒両隣りも、既に消えていた。

その方法はと考えると、既に創り始めていた我が店の「友の会」の会員さんを集めて戴き、お粥を食べておしゃべり会を始めた。

同時に「友の会会報」を、とんからりんの名にかえた。戦時の隣組の歌詞の一部をつかつて、今号は191号である。

当初、原稿をかり版切、印刷は「謄写版」から始めた。知識は青年時代の「社研」の勉強会などで培つただけ。今、作成はパソコンで随分楽に。又、投稿の連載に協力が有り難い。

只、残念な事に、読者の皆さんからの反応が少ない。「どうも一人相撲のようだ。今や81歳。200号が良い切りかなあ!」と思うこの頃。アア。シンド!。!!!

どんつき
昔、隣近所も多量な東京池袋で、餓死事件も有つたとニュースで知つた。既に物が満ち溢れた町で。

ヨシちゃん ひとりごと



プールを歩いて 渡った少女

「A子さんは、島市の小児麻痺が原因で足が悪い女の子さんでした。A子さんが通う高校では、毎年7月のプール解禁日に、クラス対抗百メートル水泳リレー大会をします。男女二名ずつがそれぞれ25メートル泳ぐ競技です。A子さんのクラスでこの大会の出場選手を決めていた時、女子一名がどうしても決まらなかった。早く帰りたいクラスのボスは「A子はこの三年間、体育祭の水泳大会に一度も出ていない。参加しろ」といじわるなことを言い出しました。A子さんは誰かが味方すると思つたけれど、女生徒は何か言えば自分が泳がされると思い、みんな口をつぐんでいました。男子生徒もボスのグルーブに憎まれたくないから、何も言いませんでした。そして、結局泳げないA子さんが選手になつたのです。」



彼女が家に帰り、お母さんに泣きながら訴えました。するとお母さんは「お前は来春就職して、その会社で何かできない仕事を言われたら、また泣いて私に相談するの?」としてお母さんがそのたびに会社に行つて、うちの子にこんな仕事をさせないでくださいって言いに行くの。」そう言つてすごく怒り、A子さんを突き放しました。

A子さんは部屋で泣きはらし、25メートルを歩いて渡る決心をし、そのことをお母さんに告げに行きました。お母さんは「A子を強いて育ててくたさい」と、必死に仏壇に

向かつて祈つていました。大会の日、水中を歩くA子さんを見て、まわりから笑い声やひやかしの声が響きました。彼女がやつの時、一人の男の人が背広を着たままでプールの飛び込み、A子さんの隣のコースと一緒に歩き始めたのです。高校の校長先生でした。「何分かつてもいいから、先生と一緒に歩いてあげてから、ゴールまで歩きたい。恥ずかしいことじゃない自分の足で歩きたい。」そういつに励ましてくれたのです。瞬時にひやかしの笑い声は消え、みんなが声を出して彼女を応援し始めました。長い時間をかけて彼女が25メートルを歩き終わった時、友達も先生もみな泣いていました。

稲荷山 ぶらり散策記⑩

アメリカの旅行誌「トラベルレジャー」が発表した2015年版世界の人気観光都市ランキングで京都が年連続2位に選ばれた。同誌によると京都はほかのどの都市よりも魅力を持つ都市として、読者投票首位をキープした。神社仏閣を洗練された料理、芸妓との出会いなど、真の日本らしさを体験できることが評価された。というのだ。



最大の旅行口
コミサイトの日

暑中お見舞い 申し上げます。

石動敬子

海の日の3連休も終わりましたね。ニューヨーク在住の次女が子供3人を連れてバカンス帰省したのは6月、日米間で倍以上がう夏休み。日本滞在今回は半分以下のひと月。8月はカリブ海クルーズだという。私の小さいころの夏休みといえば阿武隈川で泳ぐこと。日帰りの海水浴は最高の楽しみだった。町内子供会の貸し切りバスで、峠を越えれば、野馬追いで知られる相馬中村。その海、原釜で一日泳いだ。(あの原釜から、50キロ圏内の話である)



(写真・原釜海水浴場)

常の日子守りや、拭き掃除、風呂の水汲み、風呂の焚き、ウサギの草刈り、畑の草引き、ジャガイモ掘りなどの家

本法人であるトリップアドバイザー(株)が、1年間投稿された外国語の口コミ評価をもとに、外国人に人気の観光スポットTOP10を発表。伏見稲荷大社が昨年1位を連続1位となつた。2位は、広島平和記念資料館、3位 厳島神社、4位 金閣寺、5位 東大寺、と続き7位清水寺が入っている。伏見稲荷大社については、ある外人観光客は「本当のゴージャスで赤い鳥居がずらりと上まで続いている様子はとても幻想的です。たくさん写真を撮りました」と語っている。

これだけ京都伏見稲荷大社が外国人観光客に人気があることはとても喜ばしいことではある。京都市長をはじめ外国人観光客の富裕層をターゲットにたくさんのお金を落として貰わなければならない。数値目標までだしているようだ。おまけにインフラ整備と称して京都駅周辺部の開発などにも意欲を燃やしている。

伏見稲荷大社も年連続して大気観光がポトTOP10に選ばれたことを喜び、門前にはこれを知らせるポスター(写真が林立している。近所のミスターパーでは中国人の湯買でお菓子の売り上げが急増しているという。

果たしてこの事を喜んでばかりいて良いのだろうか。

地域の文化財を守るのは地域住民と

事がいっばい。勉強など余分なことでは「はたらく」はたの親を楽にしなければシジミが採れたし、川に遊べば山菜がとれた。親も川か井戸端で洗濯という時代だったが、スピアのレスズンはあつたが、塾やスポーツがその上を行くようになつた。悠々と流れる一級河川で毎日毎日泳いで真つ黒になつては泳が赤旗が揚がり禁止でも隠れて泳いだ。先生の巡回があつても草に隠れるか、畑に腹這いになつてやりすごし、めだかと一緒に泳いだ。

6月末、小演奏旅行でそんな母郷を30人で訪問し体育館で歌った。明治7年開祖の寺子屋が実家だつたという縁は漠然と知つていたが、もうすつかり過疎の村である。6からす160名ほどの小学校の元気な子供たちが阿闍梨餅と歌の土産は喜ばれたが、隠れた被災地と密かに呼ぶその村の同窓生とは会えな

いであつた。

一見復興が進んだように見える津波と放射能汚染のふるさとめぐるにされた壁が立派なだけだ。人は見えない所で深く傷ついているのだ。福島の医療センターでもともに涙のコンサートにはなつたが、そんなもので、変わるものではない。

わが実家の本堂もこわれたままだが兄弟姉妹の心自体が修復不能なのだ。

信頼に値するものが見つかつてこそ涙は流れる。こんなさずんな国政では、「山は碧きふるさと水は清きふるさと」は涙でうたえないのだつた。

京都&東山 ぶらりピカリ

62

七条通

京都物産館 丸物百貨店



京都物産館(丸物)

私の幼児時代、お店(酒屋と一杯飲み屋)が忙しいと祖母は、「マーチ(千稚さん)」に物産館へ連れて貰へ」と言われ、京都駅前

の「丸物百貨店」へ良く行った。 ※後、近鉄百貨店と淀橋カメラと変遷

当時京都には、百貨店は1912年(明治45年) 四条烏丸に開店した



「京都大丸」と『フザカン(丸物)』

には楽しい場所だった。屋上から東を見ると東山の阿弥陀ヶ峰を背に、南北に長い三十三間堂の麓が浮かび出すように見えた。

この「丸物」創業者は、中林仁一郎氏(なげよし・にんいちろう)氏。1891年(明治24)1960年(昭和35)迄によつて創業された「中林呉服店」がルーツ。1920年(大9)1月に京都駅前で「京都物産館(写真)」として出店。1926年(大15)10月の京都物産館新館6階建完成と共に百貨店形態の店舗開設したのが始まりである。更に1931年(昭6)にはそのマーク・〇の中

料は、京都府警察中継委員会「京都府警察

に物産館の「物」の字を入れ「丸物」を商号にした。後、「近鉄京都」に代わり、更に、現在は「ヨドバシカメラ京都」となっている。

京都駅に真近の丸物百貨店の丸通り一帯は、旅館と仏具店が多い。真前に「萬松」名の旅館があり、そこは「マーチ」の叔母の嫁ぎ先だったので、祖母は、時々マーチが顔だしするように気配りし、私を彼に預けたのだろうか。？。 ◎ 以下は本題と別の話になる

日本敗戦後、物資不足と超インフレが始まった。戦時から主食の米配給も途切れがち、他の物資不足が続いた。その中で1946年(昭21)1月18日、丸物隣接の『七条警察署事件』が起こった。

闇米運搬中に七条署員に逮捕された朝鮮人が連行中に逃走し、朝鮮人連盟京都府本部出張所に逃げ込んだ。が、連盟は引き渡し要求を拒絶。20日に、七条署員が京都駅構内の連盟出張所の看板を壊したとの抗議で多数「連盟員」が七条警察署に押しかけた。

警察署の防衛には、博徒やテキ屋団体が協力、「刀や棍棒」を持ち、警察署を防衛する形で屯し、夜は焚火で暖を取っていた。争つた双方に死者が出た事件は、最終的には、警察がアメリカ占領軍MPに出動を要請し、MPが駆けつけて漸く沈静化した。事件は、筆者の子供時代、70年前の話。記憶が薄れ参考に、「ういきゅべちあ」七条警察署襲撃事件を用いた。根拠史料は、京都府警察中継委員会「京都府警察

市電が走った 京都を巡る

54

福田静二



丸太町御前通を出た市電

丸太町通を西へ向かって走り始めます。丸太町線の市電乗車もいよいよ最後となりました。線路は少し上り坂になり、天神川(紙屋川)を渡ります。天神川も上流では深い谷の間を流れますが、この付近では、ごく普通の小川となっています。渡り終えると下り坂となり、到着するのが「円町」の停留場です。西大路通と交差して、市電はここで終わりますが、丸太町通は、新丸太町通と名を変えて、まだ西へと伸びています。

方面へ、昭和四十七年までは北へ曲がる系統もありましたが、以降はなくなり、市電時代、丸太町通の南側に円丸市場という市場があり、そこで大火があったことを覚えています。円丸とは、円町丸太町を短縮した言葉ですが、円と丸と言う、似た意味合いの漢字の組み合わせが妙に記憶に残っています。

円町の停留場名は、交差点の所在地が、西ノ京円町に当たり、そこから採った名です。この付近の広域地名、西ノ京について、郵便番号帳を調べると、西ノ京には六二の町がありますが、その中のひとつである円町は、その後には設けられたJR駅名も加わって、知名度が突出しています。交差点付近を囲むように、北円町、西円町、南円町があります。

円町の歴史的由来は知る由もなかったのですが、ネットで調べると、この付近にあった獄舎にあってと言います。平安時代、京都には囚人を収容する獄舎が二カ所あったそう、一つは現在の京都府庁の付近、もうひとつが、円町交差点の北辺にあつたとされています。江戸時代には、大火で大宮六角に移りますが、明治維新までこの付近は、西の御仕置場となり、罪人の首を切ったところと言われていました。かつて市電の敷設工事をす

る際に、多くの人骨が出たと伝わっています。「円」には、「囚人を囲む」という意味があるそう、獄(ひとや)の町が、円町に転化したと言います。辞書で確認

西大路線からポイントを渡り丸太町線に入る市電



しても、言われるような語源はなく、自身では確証が得られず、ネットからの受け売りとなりました。

交差点から西大路通を南に見ると、線路は急に下って、その上を山陰線が通っています。市電の時代は、また山陰線、非電化の路線で、蒸気機関車こそ姿を消してしまいましたが、客車やディーゼルカーがのんびり走っていた時代でした。その後、沿線人口の増加で、JRになつてからは、電化、複線化、高架化と、飛躍的に近代化が進められました。とくに平成十二年に、交差点に西に新しくJR円町駅ができて、利便性が飛躍的に向上しました。

交差点は、銀行、飲食店、商店、パチンコ店と、京都の交差点によく見られる標準的な町並みを構成していました。現在も、それほど変わっていない円町周辺です。



丸太町線市電の丸太町駅に着いた様子

酒屋で生きて 生かされて



第百四話

社研(勉強会)

酒屋でなく⑥

「東山日曜会」

別の道探し

参加したある日、

悩み相談会のような場が持たれた。

当時私は、父の女性関係で、義
親「母」と父との夫婦喧嘩。祖母
と「母」間の激しい口争いに閉口
していたので、その解決法は無い
だろうかと相談。会の幹部のF
氏は「君は、お「母」さんの側に
立つてお父さんの行動を批判し正
せ」と意見を述べ、続けて「君と
同じように、家庭不和で悩んでい
る人は今の日本に多い。その根源
は、封建的思想だ。その本質的
(封建思想 部分を無くするための
闘い)をしているのが共産党だ。君
も入れよ」と誘われた。

その少し前、私と「母」との会

話は、友人達の親子の話と何か違
うと感じていた。ある日、「母」
と少し揉め「あなたはワテの子や
ない」と強い口調で言われた。そ
うかヤツパリと納得。自分は、酒
谷(当時酒卸業)に不要な人間で、
何時か家を離れることなると思っ
ていたから、「封建思想をぶっ壊
せば、同じ悩みを持つ人が将来的
に減らせる」と1952.6.9密かに
入党した。当時、立命大一回生だっ
たが、殆ど通学してない状態で、
地域の修道細胞に所属した。(天
全協後59年離党その1952年は、
災害の多い年。6月和歌山大水害。

8月15日に南山城大水害があった。
6月に民主団体水害対策本部(民
水対)なる組織がつくられ、労組
や学生団体が「救援隊」(ボラン
ティア)が出来て各地の支援に参
加。(前号「タマ駅長」で記した様に、
私は貴志川町に救私援に入っ
ていた)が、その最中、「南山城大
水害」の報が入り急遽京都へ戻り
井手町へ。その大方の救援が終
り、井出町玉水川土手の日労支援
小屋が空き、そこに住み付き、昼
間はマダ人手の必要な家の復旧作
業、夜は政治活動をしていった。党
からの支援給付金は微々たる額。
米が無くなればピラ貼用の糊の残
りの汚れてないところを食って凌
ぐか、夕飯の時を狙って伊勢田
「ウトロ」の、朝鮮人住宅へパン
フを売り歩き、食事も頂戴して飢
えを凌いだ。お陰で超辛が好きで今
も平気で食べる。

日本には桜を愛でるとい
う習慣があり
ます。四季の
はつきりした日
本において、春の訪れを告げる桜の
花は特別な意味があり、美しくそ
して儚く散りゆく花に人々は心を
奪われます。
一般的に知られている桜はソメイ
ヨシノですが、桜の起源は山桜
であり、その山桜の中でも日本一
美しいとされているのが奈良県・吉
野山の桜です。ソメイヨシノは吉野
山にちなんで名付けられたもの。
桜の名所として親しまれている京
都円山の桜も、吉野山から移植
されたもの。日本の桜は吉野が元
祥と言っても過言ではありません。
山桜と聞くと自生しているものと
思いがちですが、桜の寿命や近
年の環境変化による桜への被害に
より、実は、もはや自然の力だけ
では生存することが困難な状態
にあります。山桜の花の最盛期は
樹齢およそ40年で迎えます。今
代に美しい桜を伝えていくことは
できません。
吉野山の桜の保全に取り組んで

SAKURA

編纂後記

Rumi Takoseki

いる、Daiwa Sakura Aidとい
う活動があります。植樹や苗木
の育成といった実質的な活動の他
チャリティコンサートを通じて日
本人が大切にしてきたものを後世
に伝える活動を行っています。
フレイリーパッドもご縁あって、こ
のDaiwa Sakura Aidの賛
同アーティストの仲
間入りをさせていた
だくことになりました。
京都人として、京都
に象徴される日本の古き良き伝
統を、自分たちの音楽を通じて伝
えていければと考えている二人は、
今回のお話を受け、吉野の桜を守
ること、日本の文化を守ること、
はないかと感じています。
七月にはハワイ(演奏活動に行っ
た二人。今回は日本での素晴らしさ
を再認識し、日本人であることを
改めて誇りに思っ帰ってきまし
た。国際的に活動させていたたく
ようになった二人が、桜を象徴
とした日本の文化を守り伝えてい
く活動に関わらせていただくとは、
そこに何か大きな意味があると
思わずにいられません。



▽2000年7月23
日・一人のジャー
ナリストが亡くなった。その人の
名は黒田清氏。
大阪読売新聞社(現・読売新聞
大阪本社)入社。社会畑を歩み、
1976年社会部長就任。以後、この
社会部チームの記者は、黒田軍
団として注目を集めた。
▽読売新聞の論調が、渡邊恒
雄氏保守・右派に傾倒していく
中で、黒田のスタンスは革新・左
派色が強いと見られ、渡邊の意
を体した上司に干されるように
なったのか1987年に退社。
▽後は、黒田ジャーナルを主宰
するフリージャー
ナリストとして、
ミニコミ紙「窓友
新聞」発行の他、
テレビ、ラジオ、
新聞などで活躍された。
▽そのころ「窓友新聞」読者にな
り会合などでお付き合いが始まっ
た。強い平和意識も残念ながら
臍臓癌のため死去された。
▽黒田氏の生前、腹心で脇固め
役だった大谷昭宏氏は「窓友新
聞」が沈没すると思われたのか、
さつさとお離れなされた。
▽「窓友新聞」は現在は「うずみ
火」の紙名で、孫弟子の様な矢
野宏よつて、黒田氏の想いが引き
継がれている。私も読者の一人
になっている。
▽そして、これを書いている時、
平和の護り手の鶴
見俊介様(93歳・哲
学者、評論家)の計報
が入った。
ご冥福を祈るとともに、護憲・
平和の気持ちを高めたい。

花火月三天



八月の季語に花火があります。
暑さ寒さがずれようと、人がつくっ
た行事は必ずその時に行いますね。
お盆しかり、祇園祭しかり、葵祭
しかり、いや、必ずと言って
はけないものもありません。ず
らしたのも有るでしょうから。
話戻しまして花火ですね。私の生
まれ故郷では、
花火大会は八
月の最初の土
日の八月の最
後の土日の限
定のものでした。
毎年海の花火
を見るのです
が、大きなも

のは体に響きまして、ゴゴゴゴ
と遅れてくる振動に心浮かせたも
のです。他にもスターマインや創
作花火、半開き、落下せい(花が
開いた後、小さなパラシュートが
イッパイ出てくるやつ)、花火
(花火の中に小さい花火がイッパ
イあるやつ)などなど、沢山打ち
上げられました。そんな有名な花火
じゃありません。地元の方が楽し
む花火なので、花火師の遊びが多
く隠されているというだけの事
です。最近ではデジタル計算をし
て造るそうですが、こちらは専ら手
作りなため形が歪んでいるものも
たまにあります。皆さんそれも楽し
むのです。
成功したときの「た〜まや〜」

と叫びます。しかしいざその時に
なると呆気にとられて言うことが
出来ず、小さい子なんかは大泣き
してしまいます。
そうです。後、火付けの話
なんかも聞きました。今では人の
手で付けなくなったのかもしれない
ですが、私の小さい頃はまだ人の
手で花火を付けていました。時間
が短いものは早く逃げないとい
危険があるそうで意外と肝試しな
お仕事だそうなんです。
夏の光は太陽と月のみにあらず
と言ってみまして、それくらい地
方で打ち上げられるようになった
花火。さて皆さまは、今年はどこ
のどんな花火を御覧になるのでし
ょうか。私は家から見える範囲の
ものを眺めることにいたします。



平和の護り手の鶴
見俊介様(93歳・哲
学者、評論家)の計報
が入った。
ご冥福を祈るとともに、護憲・
平和の気持ちを高めたい。